

京都工芸繊維大学
ML (Museum & Library) 連携企画

対談

高台寺

蒔絵

— 魅力の解明と

伝統技術の継承 —

京都産業大学名誉教授・下出蒔絵司所三代目

下出 祐太郎

蒔絵師たちの究極の選択

京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長

並木 誠士

高台寺蒔絵の魅力と謎

2022年 7月3日(日)

13時30分～16時00分

京都工芸繊維大学 60周年記念館 事前申込制

高台寺蒔絵

魅力の解明と伝統技術の継承

対談

「高台寺蒔絵」は桃山時代を代表する蒔絵として知られています。京都高台寺に由来するその名称は、高台寺霊屋に祀られる豊臣秀吉とその夫人北政所の厨子の装飾にその原点があります。桃山時代の美術を語るときのキーワードのひとつになっている高台寺蒔絵ですが、その魅力は、狩野永徳が描く金地に極彩色の絢爛豪華な襖絵が示す「桃山的」な美とは、だいぶ様子が違ってきます。黒漆地に平時絵という、一見シンプルさを突き詰めたような高台寺蒔絵は、その前後の時代の蒔絵の華やかさも異なり、また、金地濃彩の襖や屏風とは究極の対照関係にあるともいえます。では、その表現は、誰がどのような経緯で生み出したのでしょうか、そして、その技法はいつたいたいのものなのでしょうか。高台寺蒔絵の魅力と謎は尽きません。

この高台寺蒔絵の魅力と謎を解明し、伝統的な蒔絵技法を保存・継承することを意図して、下出蒔絵司所第三代下出祐太郎氏が、秀吉と北政所それぞれの厨子扉裏の精緻な復元作品を作成されました。このうち、秀吉厨子扉裏面は、2011年にイギリスのヴィクトリア&アルバート美術館で展示されて、日本の伝統文化の素晴らしさをひろく海外にも伝えました。さらに、伝統的な工芸技術の保存と継承は、有形無形の文化財保存という観点からも大変重要です。

京都工芸繊維大学では、このたび、それぞれの厨子の表裏全4面の復元作品を借用して展示をおこない、高台寺蒔絵の魅力と謎の解明、伝統技術の保存と継承の重要性などを考える講演および対談を開催することといたしました。この企画を通して、日本美術の魅力と文化財保存の意義を再確認することができれば幸いです。

講師

下出 祐太郎

京都産業大学名誉教授・客員教授、博士（学術）。
下出蒔絵司所三代目、伝統工芸士、現代の名工。
即位礼や大嘗祭の神祇調度、第61回第62回伊勢神宮式年遷宮御神宝に携わる。京都迎賓館では水明の間飾り台「悠久のささやき」等を制作。ものづくりの立場から文化財の調査、保存修理を進める。伝統産業活性化に向けては異業種NEC、CASIOとのコラボレーションを展開。後継者育成に力を注ぎ、漆や文学の講演執筆活動にも取り組む。

並木 誠士

京都工芸繊維大学名誉教授・特定教授、美術工芸資料館館長。
京都大学大学院文学研究科修了。徳川美術館学芸員、京都大学助手を経て、京都工芸繊維大学で教鞭を執り、後進を育成。日本美術史および美術館学を専門とし、中世から近代への美術工芸史と現代社会における美術館の役割についての研究が中心テーマ。展覧会企画、著書・著述多数。
2011年京都・大学ミュージアム連携を設立し、京都の美術工芸を国内外に発信。2021年度京都市芸術振興賞受賞。

開催日時・会場

日時 2022年7月3日(日) 13時30分~16時00分 (13時開場)

会場 京都工芸繊維大学 60周年記念館

申込方法【事前申込制】定員80名

当日参加ご希望の方は下記フォームからお申し込みください。申込締切: 6月30日(木)



申込フォーム
QRコード

▼ 申込フォーム

<https://www.kit.ac.jp/entry/view/index.php?id=225461>

※附属図書館YouTubeチャンネルにて後日配信を予定しています

関連情報

第2回下出蒔絵司所展 — 高台寺蒔絵の復元的制作 —

期間 2022年6月13日(月)~25日(土) 10時~17時

会場 山中油店「楽庵(さんちゅうあん)」

京都市上京区下立充通智恵光院西入下丸屋町514 (山中油店向かい)

TEL 075-361-0320 (下出蒔絵司所) <https://www.yoil.co.jp/sunchuan/>

高台寺霊屋厨子扉 復元作品展示

期間 2022年6月27日(月)~7月2日(土)

会場 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 1Fホール

関連資料展示

期間 2022年6月13日(月)~7月8日(金)

場所 京都工芸繊維大学附属図書館 1Fアメニティゾーン

お問合せ

京都工芸繊維大学附属図書館

TEL: 075-724-7185 E-Mail: library@jim.kit.ac.jp

主催: 京都工芸繊維大学附属図書館

共催: 京都工芸繊維大学美術工芸資料館



京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto